

単分量あたりの大きさ(5年生 算数)



5年生の算数の学習のようすです。
5年生は今「単分量あたりの大きさ」という単元の学習をしています。
この単元は小学校6年間の学習の中で最も理解が難しい単元のひとつでさらに、その後の学年の学習にもつながっていくとても大切な学習です。



問題を解く時は左の図のように数値を数直線に表して比例の考え方をういながら考えます。

今日の学習は単元のまとめとしてドリルやプリントの練習問題に一生懸命取り組んでいました。